

# 第1回 光駅拠点整備デザイン会議 会議録

日時：令和元年10月15日（火）18：30～20：00

場所：光市役所3階大会議室1・2号

## 【出席者】

- ・委員：12人（代理出席1人、欠席1人）
- ・アドバイザー：2人
- ・オブザーバー：3人（代理出席1人）
- ・事務局：6人、ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社：2人

## 1 開会

## 2 委嘱状交付

委員を代表して榊原綾氏に市長が委嘱状を交付

## 3 光市長あいさつ

大変ご多忙の中、また夜間にも関わらず大勢の皆さんにご参集いただいた。改めて御礼申し上げますとともに、これから委員としてぜひよろしくお願いしたい。

ところで、フューチャーデザインという言葉をご存じだろうか。私たち現代を生きるものは自分たちの世代を考えて、子や孫の世代を考えない傾向があると言われている。だからこそ難しい課題を先送りにしてしまわないことが、現代社会に住む私たちの責任であるというように言われている。そこで今、日本発のフューチャーデザインという考え方が全世界に発信されつつある。端的に言うと、私たち人間にはスイッチをオンにすると未来人になるという機能が備わっているということである。そのスイッチをオンにして、現在から未来を見つめるのではなく、例えば10年後に行ってその世界から現代を見て、私たちが何をしなければいけないかを考えるという手法である。現在から未来を見るよりは、スイッチをオンにして10年後の光駅前に行き、そこから現在を見て何が課題なのかを見つめる。私たちが10年後にワープして10年前の光駅はこんなのだ、であれば、いま私たちがすべきものは何であるか、というような視点であると解釈している。この手法については、今あらゆる自治体で実験をされている。このような視点も皆さんにはお願いしたい。ここには様々な年代の方がいるので、それぞれが10年後から見る視点も頭の片隅に入れながら考えていただきたい。

もう一つ、最近ラグビーが話題となっているが、平尾誠二さんという天才ラグーマンの言葉に「未来ではないのだ」という言葉がある。「今の自分がどうなのかが重要だ、未来ではない」という先ほどとは反対の事を言っている。彼らは厳しい練習の中で、夢や未来を描き、そして夢を見て、それを自分で体得し、試合の時には今の自分はどうなんだ、という流れのことを言ったのではないかと思っている。

この基本計画を作るときこそ、夢を語る議論の場であると思うので、ぜひこの場を厳しい練習の場と心得ていただいて、様々なご意見をいただきながら進めたいと思っている。

皆様の大きなご支援に心から御礼を申し上げ、私からの開会のご挨拶とさせていただきます。

## 4 自己紹介

各委員の自己紹介に続いて、事務局が自己紹介

## 5 会長・副会長選出

事務局案を求める声があったため、事務局案を示し、同意多数により決定

会長 橋本 均 氏 (浅江地区コミュニティ協議会 会長)

副会長 足立 基樹 氏 (光市観光協会広報委員会 委員長)

### <会長あいさつ>

皆様方のご協力によって設置要綱の第2条にある「デザイン会議の任務は、基本計画の策定に関し、意見及び提言を述べ、又は助言を行うこととする」というお仕事を賜ったというように思っている。皆様方の提言または助言をいただきながら基本計画にデザインを描いていきたいと思っている。

### <副会長あいさつ>

前年度に「光セレクション」という種をまいていただいて、2年、3年計画であるが20種類ぐらいの光の名産品ができるのではないかといいところである。新しい光駅になったときには、私たちも一翼を担って、一緒に楽しめるのではないかと考えている。さらに、最近では若い方が音頭を取った虹ヶ浜や光ヶ丘等での新たなイベントが始まることなど、駅前近くで新しい価値観が生まれてきている。それに伴った発展も含めて、子どもの世代・孫の世代まで財産として残せるような駅になっていければと思っている。

## 6 議題

- 光駅拠点整備基本計画策定業務委託の受託者であるジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社が会議に出席することについて会長が承認

### (1) これまでの取組みについて

#### ● 会長

議題(1) これまでの取組みについて、事務局より説明をお願いしたい。

#### ● 事務局

<事務局より光駅拠点整備基本構想冊子及び資料2～3ページに基づいて説明>

#### ● 会長

ただいま、事務局から、光駅周辺地区の拠点整備に向けて、本年3月に策定された「光駅周辺地区拠点整備基本構想」の内容などについて、説明があった。本会議で議論することのベースになるかと思うが、今ほどの議題に関して、質問等あればお願いしたい。

#### ● 委員

虹ヶ丘跨線橋が整備される前から駅北側に住んでいるが、虹ヶ丘跨線橋が出来たことでとても助かっている。虹ヶ丘跨線橋が整備された後にも、駐輪場などの整備が進んできた。現在では、駅周辺というよりもJR光駅自体の設備に対する希望が大きい。

● 会長

基本構想検討会議の時にもそのようなご意見があったが、今後は駅のことも含めて検討するというので良いか。

● 事務局

駅周辺よりも駅自体をというご意見をいただいた。階段の昇降などバリアフリーに関するご意見だと思うが、それについては基本構想の 30 ページの施策例の中にも「エリアの一体的・連続的なバリアフリー化に向けた検討」として挙げられているように、駅周辺だけでなく駅や自由通路も含めて検討を行っていく。

● 会長

自由通路は、海側に住む人が避難するためにも使われる。そのためには現状のままでは難しい。このことは、浅江のコミュニティ協議会でも議題となっている。通常時だけでなく災害が起こった時に避難場所まで行くのが難しいのではないかなどの住民の声もある。

● 委員

基本構想 4 ページの基本構想の期間について、基本構想に基づく各種取組みの事業化までの期間は概ね 15 年となっているが、その根拠を教えてください。15 年という長期間では大きく状況や技術等も変わりそうだが、もう少し短期間で検討すべきなのではないかと思う。

● 事務局

基本構想 33 ページの将来構想図にあるように、500m の検討範囲について 20 年後を見据えつつ事業化までの期間を 15 年として段階的にまちづくりを進めていきたいと考えている。特に求められている駅と駅直近の整備については、取組み期間を短期としており、15 年よりも早い期間から取り組んでいく。

(2) 本年度からの取組みについて

(3) 光駅拠点整備デザイン会議について

● 会長

議題 (2) 本年度からの取組みについてと、議題 (3) 光駅拠点整備デザイン会議については関連が深い議題であるため、事務局から一括して説明をお願いしたい。

● 事務局

<事務局より資料 4～11 ページに基づいて説明>

● 会長

ただいま、事務局より本年度からの取組みと本デザイン会議について、説明があった。主なところで言えば、来年度の半ばを目途に光駅拠点整備基本計画を作成する予定としており、本会議には、この基本計画の策定に関して、意見や提言を求めるということであつたと思う。今の議題について、意見、質問はないか。

● オブザーバー

資料 7 ページの光駅周辺地区拠点整備事業の概略スケジュールについて、基本設計等が令和 2 年度からとなっているが、基本計画の中でも基本設計的な部分もあると思うので、本会議でもある程度の形を示さないと議論が進まないように思う。また、駅前広場等の交通の規制等に関わることなので警察の意見についてはアドバイザーとしてというよりは委員としてしっかりと聞いた方がよいと思う。しっかり意見交換をしていければよいと思う。

● **事務局**

基本設計のスケジュールに関するご意見をいただいた。資料 6 ページに基本計画の構成をお示ししているが、整備計画図の段階では具体的な絵を描き、その後、それに基づいた概算工事費、スケジュールを示していく予定なので、具体的なものをある程度お示しして、皆様方からご意見等いただきたいと考えている。

● **事務局**

警察がオブザーバーとして加わっていることにご意見をいただいた。行政ということで警察はオブザーバーという位置付けで発言していただくが、当然いつかの段階で交通の規制等に関するご相談をさせていただく必要があると思っている。この会議の場ではオブザーバー等の立場に関係なく発言いただきたい。

● **会長**

本会議での意見、提言、助言を入れながら、また、アドバイザーの助言を受けながら基本計画を作成していくということが重要だと思う。

● **オブザーバー**

警察としては、道路、交通等に関する事柄がいろいろ出てくると思う。警察として許可できない案を会議にかけても困るので、整備の実現に向けて案を早めに持ってきて協議・相談していただければと思う。

● **会長**

警察へは青写真の段階で協議をしながら進めていっていただきたい。

● **委員**

今回の会議を経て決まる基本計画は、市で具体的に策定するのか、それとも受託者が作成したものについて議論することになるのか。

● **事務局**

基本計画は市が策定する。技術的な支援は業務の受託者が行うが、策定主体は光市である。

**(4) 現状について**

● **会長**

議題（4）現状について、事務局より説明をお願いしたい。

● **事務局**

<事務局より資料 12～30 ページに基づいて説明>

● **会長**

ただいま事務局から、光駅利用実態調査の結果や各施設などの現状について説明があったが、これについて、意見、質問などはあるか。

● **副会長**

下松方面に車で向かうときは光駅前を通過して行くが、国道に出るために光駅前広場を通過する車両について、現状の形を維持するのか、それとも別の方法をとるのか。

● **事務局**

通過交通へのご意見をいただいた。現状では通過交通が 8 割以上という数字もあった。今後配置等をどうしていくかは具体的にはまだ申し上げられる状況ではないが、駅前広場での通過交通をはじめ送迎の車、バス、タクシー、自転車、歩行者といった交通が交錯している

現状の中で、通過交通が流入するのがふさわしいかどうかは課題として捉えている。

### ● 副会長

15～20年後の将来を考えると自動運転の普及などの変化要素も出てくると思う。光市の道路は分かりやすく、きれいなので、このような道路環境を無駄にしないようにしてほしい。

もう一つ、花火大会等の大きなイベントでは橋上駅では将棋倒しなど危険な状況が多いが、そういった場合の安全対策について警察にご意見を聞いてみたい。

### ● オブザーバー

陸橋等の安全対策についてはハード面では対応できない。主催者側が人数制限などハード面ではない部分からいかに制限するかだと思われる。

また、光駅前の地域特性として、車で来られる方が多い。車と公共交通で利用者を分散することも大切だと思う。事故に対する対策は油断してはいけないし、ハード面（幅員等）からも大きくとるなど安全に越したことはないが、ハード整備を待っているイベントが開催できなくなるので、主催者が事故を防ぐための対策の検討や管理方法を考えることが重要。警察としては、安全が確保できないのであれば、規模を縮小するなどして開催をした方がよい。

### ● 委員

通過交通については、瀬戸風線が完成したときに車の流れが変わってくるので、それを踏まえて検討してほしい。商店街としては利便性もあるが経済も重要である。

### ● 会長

瀬戸風線整備については、駅前の交通の緩和、特に中村町の交差点や国道188号の混雑緩和が目的であったが、今回は駅前を賑やかにすることが目的となっており、現状にたくさん課題があるというのは当然だと思う。委員の皆様には、他の事例も勘案しながら課題を解決するアイデアを提案してほしい。

最後にアドバイザーの方に、率直なご意見などをお示ししていただきたい。

### ● アドバイザー

今回の会議は、1回目ということで委員が共通認識を持つ良いスタートであったと思う。今回の会議は、光駅拠点整備基本計画を策定するための助言やアイデアを事務局に出すのがミッションであると認識している。そのためには、資料5ページに示されるA～Cの検討範囲にかなり限定して、どのように改善していくのかという提案をしていく必要がある。この範囲はほぼ公共用地であり、ここを良い駅前広場、駅舎、使いやすい自由通路とするためにどうするかを考えていくということであるが、駅のインパクトは大きく、駅を改善すると人も集まるし経済活動も高まってくる。これを全部行政に任せるということではなくて、これから色々なニーズが出てくると思うので、今回の検討範囲の改善に向けて盛り込める内容は盛り込んでいきたい。公共性の高い施設を整備するということは大前提であるが、それにこれからの光市を考えていくうえでどこまで民間の経済活動を上乘せした良い計画を作れるかというところがポイントだと思う。民間の経済活動をうまく引き出すようなアイデアが出てくるとよい。駅で色々整備してもうまく使われないパターンもあるので、民間の支援や若い方の力を意識しながら計画をしていくことが重要だと思う。

- **アドバイザー**

意見としては、二つある。一つは手続き論についてである。基本計画の後に基本設計に移っていく際に、協議や調整が必要となる相手方がどのようになっていくのか。今回の検討範囲はほぼ公共用地であり、民間側の要素が比較的少ない、公共側の動きだけで決められる地区である。広島県の横川駅の場合は国道事業で駅広を整備しており、そこでは多方面での調整が必要となったが、光駅の場合は、オブザーバーに相談しながら進めるのがよいのだと思う。

もう一つは、通過交通についてである。通過交通を残すかどうかこそ、会議の中でも議論すべきである。光駅では車が旋回する場所として使われている。それより先では旋回する場所がないからである。それを抑え込んでまで交通処理していく必要があるのか、それを認めつつ駅広を整備するのか、駅前広場での通過交通を遮断するのであれば、別の場所でその役割を補完する必要があるような交通需要だと思う。そのような部分も意見を述べる機会を作っていただきたい。

- **会長**

時間もないことから、本件についてはこれで終了する。

以上をもって、本日の議事は全て終了させていただく。

## 7 その他

- **事務局**

事務局からお知らせをさせていただく。まず、会議録等の公表について、要綱にあるとおり、会議については原則「公開」となるが、会議後には、会議資料及び発言者の氏名等は伏せた会議録の概要をウェブサイトで公表させていただく。

次に次回の会議について、年内を目途に次回の会議を開催したいと考えている。会議の開催日は追って連絡させていただくが、本日同様に平日の夕刻の開催を考えている。

本日の会議で発言できなかった意見等あれば、個別にでも事務局に仰っていただきたい。

- **会長**

事務局から議事録の公表と次回会議について説明があったが、何かご質問等はあるか。

ないようであれば、次回の会議は、年内を目途ということで、日程等については、決まり次第、事務局から各委員にご連絡をさせたいと思う。

その他、委員から何かあるか。ないようであれば、事務局にお返しする。

## 8 閉会

- **事務局**

本日の会議を終了する。